

平成28年度 学校法人 三幸学園 横浜こども専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 梅田正憲

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 太田亮一

1. 学校の教育目標

学園全体で目指す人材育成像ならびに全国こども校にて目指す人材育成像を達成すべく、
学校運営・教育を行う。

目指す人材育成像(学園全体)

『素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで、社会に貢献する人材』

目指す人材育成像(こども校)

『皆から信頼・感謝され、こどもの未来を育む人材』

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

1)経営理念、経営目標、教育理念、ミッション・ビジョン、目指す人材育成像の共有

2)教務目標・・・統一した生徒指導の基礎徹底(人間力の基礎作り:挨拶、清掃、出席)

精皆勤率 全クラス 年間最終精皆勤率 45%、退学率全体 6.5%

- | | |
|-----------|--------------------|
| ① 挨拶 | 教員の方からも進んで元気に笑顔で挨拶 |
| ② 環境設定 | 清掃の徹底・身だしなみ指導 |
| ③ 欠時管理の徹底 | 教務事務強化 |
| ④ 授業力向上 | 授業アンケート |
| ⑤ 担任指導力向上 | 学科学年ごとの業務体制強化 |

3)就職目標・・・内定率 100%

② 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 現場は子どもの対応だけではないため、保護者対応や実習生を担当するので、基礎基本が大切であり、特に挨拶・清掃の仕方が大切であると感じている。
- ・ 今まで環境が違った新入生に対して、どう伝えるか、どう理解させ実践させることが重要である。
- ・ 専門学校で人として、社会人としての基礎基本の指導をしていただけることはありがたいと感じる。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	3
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

- ・園、施設との関係性を深め、業界の動向や求める人材像を正確に捉える。
- ・生徒の気質理解を深化し、現場が求める人材像とのギャップを効果的に埋めていく指導を実施すること

② 今後の改善方策

- ・就職先や実習先との積極的な関係構築（園長連絡会）
- ・生徒への視覚化した情報の提供（教育目標制定→日常の指導・実習就職指導）
- ・保護者との協力体制（保護者通信・担任との連絡強化）

③ 特記事項

- ・年3回の全体会議にて、学園教育理念・ビジョン・ミッション・本校教育目標を教職員へ周知を図っている。
- ・生徒へはHRや日常生活を通して、口頭並びにポスター掲示や装飾等で浸透を図っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・現場で良い印象を与えるコミュニケーション能力が必要。その為になぜこれをするのかの根拠をつたえてほしい。挨拶ひとつをとっても「なぜ挨拶をするのか」の意味を理解できていないと感じる。
- ・生徒の質にバラつきがあり、御校のスクールカラーが見えづらい。
- ・御校に限らず、年々実習生の意欲や基礎学力が落ちてきている危惧を感じる。
- ・卒業生として、積極的、前向きで、元気がある学校だと解釈していた。
- ・在学時、オープンキャンパスの際には高校生に「元気」「生徒・先生・学校の雰囲気よさ」をPRしてきた。
- ・就職面接の際に行事の話をよく聞くが、その経験がどのように保育の仕事に活かされていくのかという部分まで話せていないのが残念。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・人事、労務、就業環境の整備に努め、業務の効率化を図る。
- ・各教育活動の目的目標を明確にし、取り組みや活動については積極的に公開し、振り返り改善に努める。

② 今後の改善方策

- ・業務フローの見直しや業務改善を積極的に行うことで無駄を無くし、業務の効率化を図る。
- ・教務事務職採用し、担任の業務負担を軽減し、生徒指導を深化させる。
- ・学年主任を中心とした学年会にて、HRや日常指導に関して、意図を踏まえたうえでの統一指導を実施。

③ 特記事項

- ・業務内容に対する業務時間削減に向けた意識改革
- ・目的目標を押さえた会議開催(学校運営:全講師会・担任会 授業:教科会 生徒:クラス会・学年会等)

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・すでに実施されていると思うが、現場も女性が多い職場であるので、育休・産休の積極的取得を促し、給与水準を上げ、一人暮らし補助等を行うことで離職防止に取り組んでいる。
- ・持ち帰り仕事はNGにしつつ、IT化を進めたことにより1/3程度の時間に短縮できた。
- ・見えない部分での残業はある。ただ、やりがいは感じているので、人間関係等のソフト面を重視してほしい。
- ・教職員の健康管理と一人当たりの業務量削減は急務である。そのためには人を増やす。新システムを導入するなどしないと業務量は減らないでは。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員的能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

- ・入学者に対して、修学年限内にて職業教育到達レベルまで押し上げる教育体系化
- ・教職員の授業力・指導力のさらなる向上。

② 今後の改善方策

- ・実習、就職先園との関係強化（園担当教員エリア担当制・園長連絡協議会深化）
- ・実習先アンケートの検証
- ・学内でも教員勉強会、研修会を積極的に実施。（外部講師含む）

③ 特記事項

- ・今年度、姉妹園でもあるキッズ大陸にて教員実習を実施。
- ・担任会議などで教員勉強会を実施。今後も計画し継続。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 資格取得も大変だろうが、資格があれば、現場で適応できるわけではない。積極的に動く気持ちや行動が必要である。何かを考え行動し、判断する。創り出す。授業を行ってほしい。
- ・ 共学であることは大きな特徴だと感じるので、男性保育士としてのキャリアについてより積極的に伝えてほしい。
- ・ 資格取得だけでなく「この学校に来るとこれが身につく」という強みを持つとよい。
- ・ 学校の授業で現場に出た際の具体的な事に関して、色々と教えていただいたことはありがたかった。ただ、現場に出れば出るほど、学びが必要となってきた、学生時代の教科書を働いてからもよく読んで学び続けている。
- ・ 教職員研修等、教育の質の担保に関わる部分は今後も力を入れてもらいたい。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	2
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・ 生徒の学力、メンタル強化(単位取得・充実した現場実習に向けて)
- ・ 退学率低減をより進める
- ・ 卒業生との継続的連携を強化する

② 今後の改善方策

- ・ 実習就職指導強化、基礎学力演習、未来デザインプログラム、スチューデントティーチャー導入
- ・ スクールカウンセラーの積極的活用。
- ・ 同窓会活動の活性化(年1回の同窓会、同窓生の現状把握強化)

③ 特記事項

- ・ 退学率は2年連続低減できている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 多種多様な入学生に対して指導されていることは承知している。
- ・ 短大併修も含め、学事日程は大変だったが、熱心に勉強することもできた。
- ・ 困ったときに学校へ相談できるので、それほど母校の支援に関して意見はない。
- ・ 中長期的視点で、卒業生に対して、幼稚園教諭免許更新の案内等をしていたらよいのではないかな。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・学生に対する様々な角度からの支援（生活環境・経済的支援）
- ・学校を取り巻く高校・園・保護者・卒業生とのネットワーク

② 今後の改善方策

- ・経済的支援に関する制度に対する積極的理解告知
- ・就職支援に関しては、担任・エリア担当と当該生徒との結びつきをより強める
- ・ボランティア活動への積極的促し
- ・保護者・園・高校との積極的情報共有
- ・卒業生、本校へのニーズ調査

③ 特記事項

- ・経済的支援具体例

特待生学費免除制度、学費応援(学費月謝払い)制度、日本学生支援機構奨学金制度
保育士就学支援金、教育訓練給付金、三幸学園経済支援制度

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・特待生として学費の免除や奨学金も借りていたため、支援いただいて非常に感謝している。
- ・日常生活や就職支援は担任の先生に非常に助けてもらった。
- ・様々な生徒を送り出す高校側として、生徒個々に合わせた多様な指導をより行ってほしい。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・更なる教育環境、体制を整備する。(ピアノ室)
- ・防災、安全管理の徹底

② 今後の改善方策

- ・教育環境の振り返りと改善を続けていく

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・校舎が2つあり、移動が大変だった。体育館があるとなおよい。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	3
学納金は妥当なものとなっているか	3

① 課題

- ・少子化が進む中、保育業界の就業を希望する志高い入学者の確保

② 今後の改善方策

- ・業界理解とともに本校の教育理念や特色を分かりやすく伝える。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・就職率が高いのはわかるので、どのように学び、どうやって就職決定しているのかというプロセスを高校側や生徒へ説明してもらいたい。
- ・なり手が増えることが大事である。その為、職域団体として直接高校側へのアプローチもしていく

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

※委員会開催時、今年度の決算が終了していなかったため前年度財務諸表を参照して財務情報を共有した

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

- ・更なる法令遵守の推進。

② 今後の改善方策

- ・会議や掲示物などを通じて、全ての教職員に対して法令遵守を徹底させる。
- ・コンプライアンスムービー視聴

③ 特記事項

- ・平成 26 年度自己評価結果をHPにて公開している

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・個人情報の取り扱いは極めて慎重に行うべきである。
- ・学校同様にSNS上の写真公開等、非常にナーバスになってきている。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

- ・より積極的な社会貢献活動を実施

② 今後の改善方策

- ・学びの実践機会をより増やしていく

③ 特記事項

- ・子育て支援活動を定期的（月2回ほど）実施している
- ・学生に対してボランティアの積極的告知を行い、施設や園での活動や清掃活動を行っている
- ・地域貢献活動（ハロウィンイベント、町内こども会、地域の遊びの広場等）

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・引き続き、積極的な活動をされるとよい。
- ・施設実習後になって、ボランティアに参加をした。もっとボランティアに参加すればよかった。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・ 母校で学ばせていただいたことを様々な視点で知り、理解することができた。これからも先生方の熱い指導により母校が発展してもらいたいという思いと、自分の保育を見直すきっかけになり非常に勉強になった。
- ・ 「技能と心の調和」を教育理念に掲げられている。まさにどちらかではなくどちらも必要である。今後は人間力育成という御校の特徴を活かしつつ、技能の部分もより高めていくことが必要だと感じた。
- ・ 様々な角度から様々な委員で学校教育を話し合うことの意義を非常に感じた。ぜひ、議論したことを実際に活かして行ってほしい。
- ・ 入学時点で生徒さん達には目的目標の差があり、家庭環境もバラバラな中での指導にはご苦労があることと察する。今後も学校との連携を強め、支援していくことで業界の発展に努めていきたい。